

『2級土木施工管理技士 楽しく学べるマンガ基本テキスト』追録

本書内「注意書き」部分に記述漏れがありました。謹んでお詫び申し上げますとともに、下記の通り追加させていただきます。

頁	内容
98 頁	※1. 試験ぐいは、通常基礎ぐいの一部として使用される。
136 頁	※1. 応力を増加させずに一定に保った状態で、ひずみが時間とともに徐々に増える現象。
197 頁	※1. そのため盛立てで含水比は、施工性も考慮して、一般的には、最適含水比の-1%~+3%の範囲がとられる。
239 頁	※1. 陸地の標高や河川の基準面は「東京湾平均海面 (T.M.S.L.)」、また海図や港湾工事の基準面は「基本水準面 (C.D.L.)」を用いる。
246 頁	※1. タイロッドは、長さを調整できるようにターンバックルを設ける。また、埋立後の地盤沈下による曲げ応力が生じないように、矢板、控え壁のとりつけ部にリングジョイントを設ける。
277 頁	※1. 土止め工については P.113 を参照。
396 頁	※1. 一般の電球はフィラメントに電流を通じて白熱発光させる白熱電燈である。
434 頁	※1. 施工用機械設備、消耗役務材料、工具等の反復使用回数が増加すると原価は低減する。
446 頁	※1. 従って、つり上げ荷重 15 t の移動式クレーンの場合、重さ 15 t 以上のものはつり上げてはいけない。
472 頁	※1. 3 σ を行動の基準とする。3 σ をとび出す確率は 3/1000 あり、必ずしも 100%異常ありとはいえず、この誤りを危険率という。